



# 「今後の日本の成形加工業を考える」

株式会社プラリンク  
代表取締役  
山喜 政彦

PLALINK CORPORATION



- プラリンクのご紹介
- 歴史の振り返り
- 今後について考える



## 起業目的

技術者を繋ぎ、未来に繋ぎ、活力の有る社会の実現に貢献する

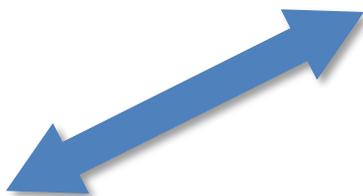
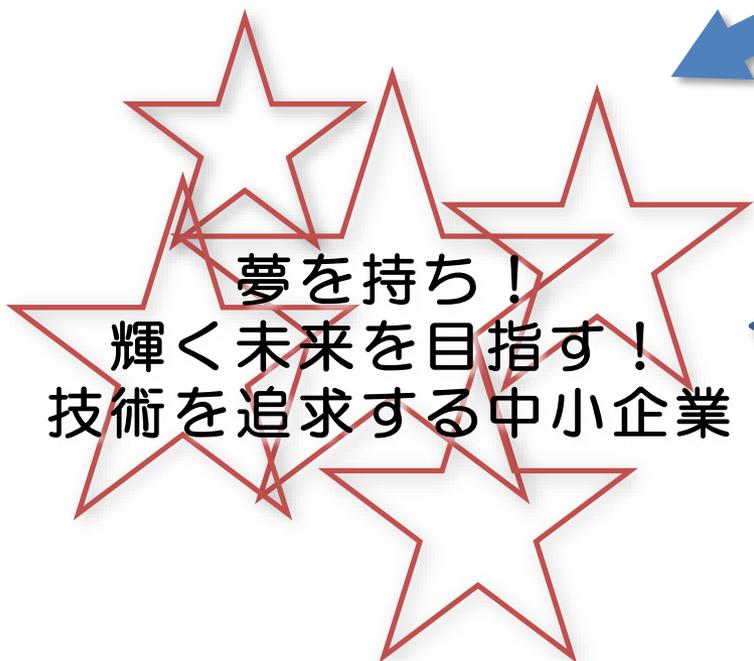
---

## 事業目標

顧客の技術力強化、新製品開発を通して、競争力のある企業への成長をサポートすることによりWIN/WINの関係を構築する

# プラリンクビジネスモデル

- 直接採用が難しいスペシャリストによるサポート
- 企業間ビジネスマッチング

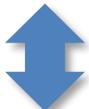


新技術を開発し提案  
新製品開発テーマ発掘

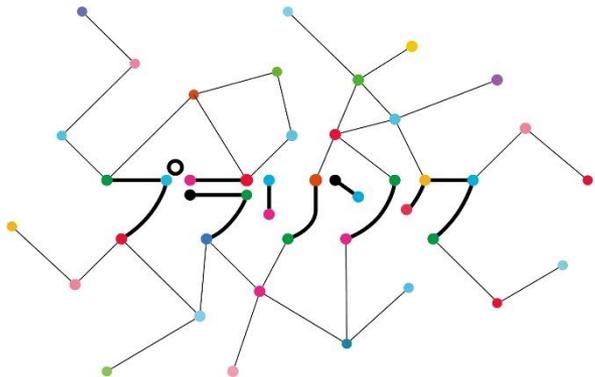


コンサルティング  
・技術力強化

最終製品（自社企画開発）メーカー



新製品開発サポート



事業企画、デザイン、樹脂、CAE、金型、  
成形技術のスペシャリスト集団

+

素材メーカー / 装置メーカー / 大学等研究機関



## 自己紹介：技術開発及び事業開発の実績

- 精工舎、河淳ではデザイナーと一緒に新製品開発を行う仕事に携わる
- 三井化学では樹脂加工技術開発の仕事に携わる
  - スーパーエンブラ超精密成形技術の開発
  - **CAE**（三井**G**開発流動解析ソフト）利用技術開発
  - スーパーエンブラ成形品事業の立上げ
  - 光ディスク成形技術強化
  - ヒート&クール射出成形システムの開発
- 大塚テクノでは精密成形品、部品事業の立上げ、競争力強化に携わる
  - スーパーエンブラ成形品事業の立ち上げ
  - リードフレームパッケージ事業の立上げ、競争力強化
  - ミニブレーカー事業の立上げ、競争力強化
- 株式会社プラリンク設立



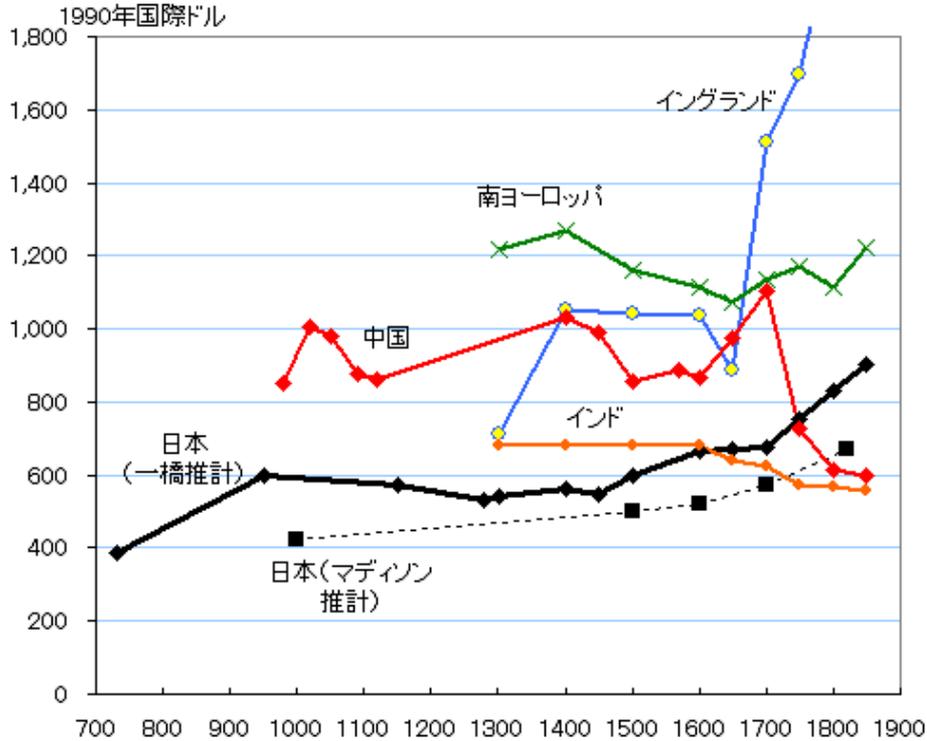
# 今後の日本の成形加工業について考える

- 世界経済の中での日本の位置づけ



# 世界主要国の名目GDP推移

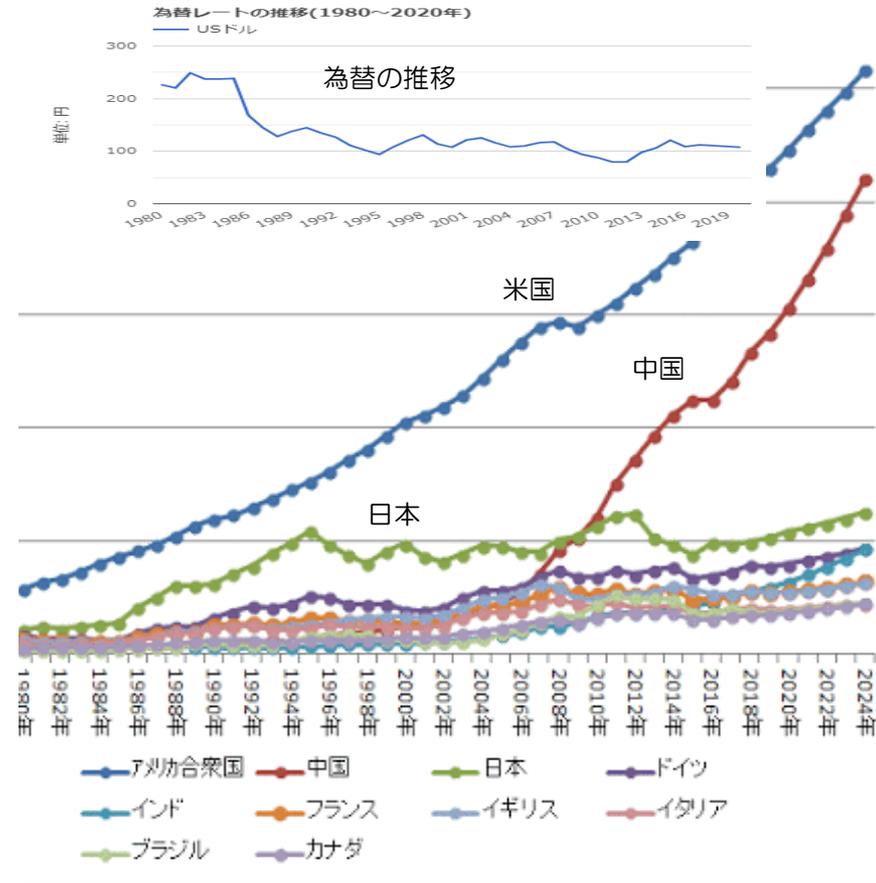
1人あたりGDPの歴史的推移(700~1850年、日本と主要国)



(注) 日本については、下記資料、中国はBroadberry et al.(2017)、その他はBroadberry(2016)、マディソン推計はMaddison(2001)による

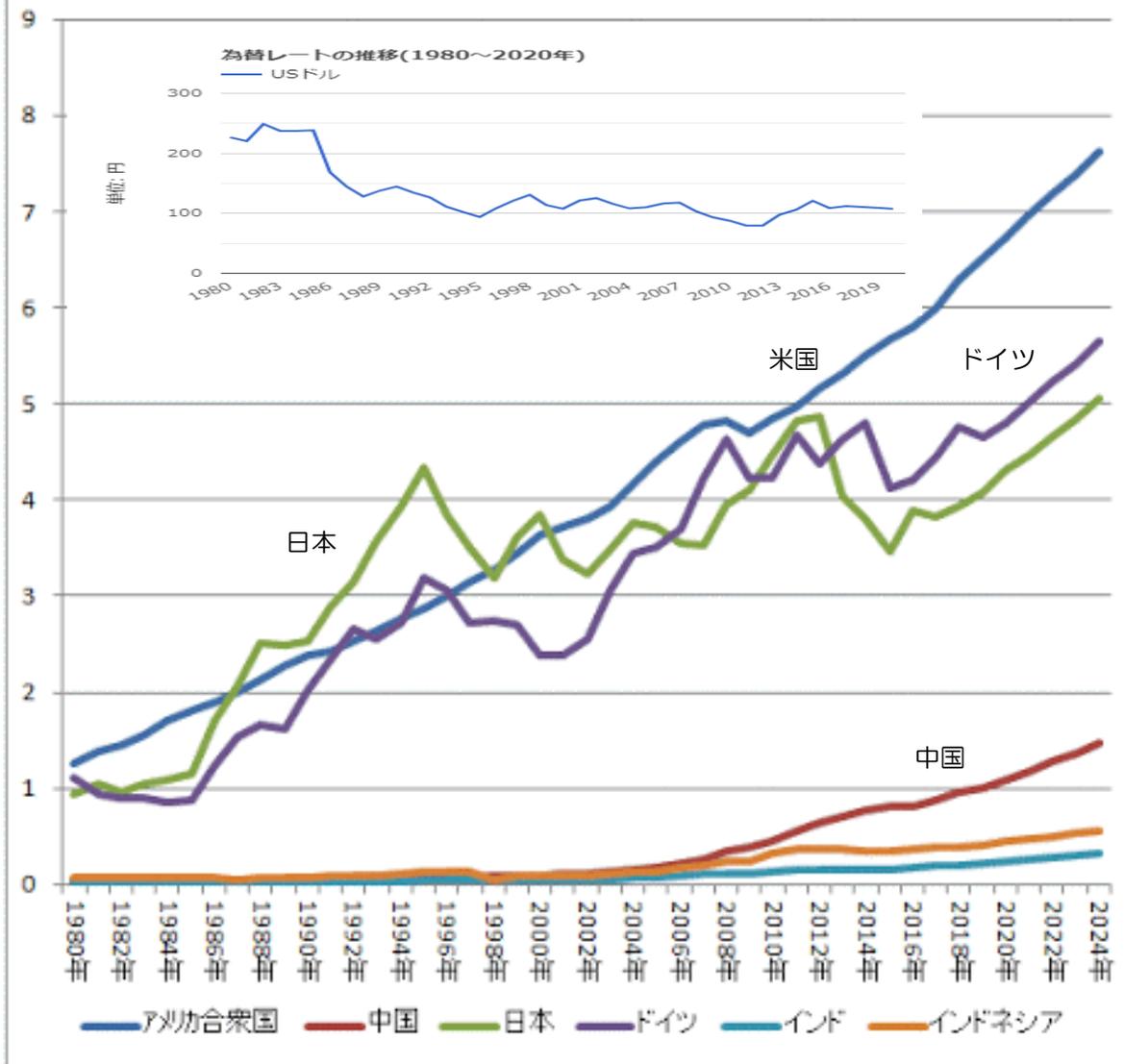
(資料) 高島正憲・深尾京司・西谷正浩(2017)「岩波講座日本経済の歴史1 中世序章第1節成長とマクロ経済」(p.22,293)、深尾京司・斎藤修・高島正憲・今村直樹(2017)「岩波講座日本経済の歴史2 近世巻末付録生産・物価・所得の推定」(p.285)

主要国名目GDP  
(米ドルベースで2020年時点の上位10か国、IMF予想含む、兆米ドル)





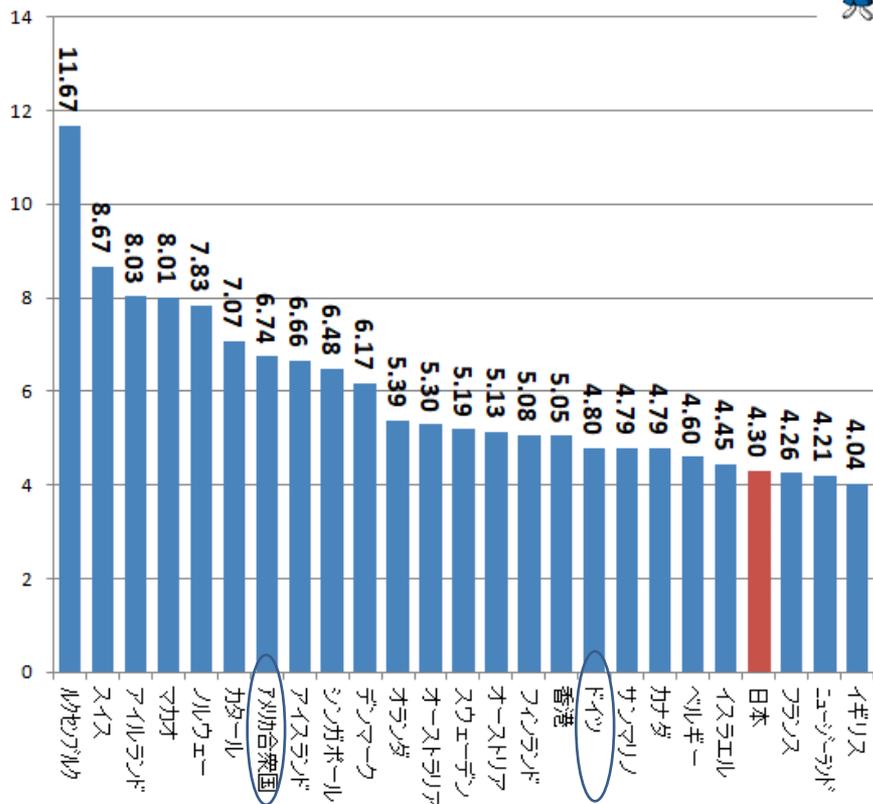
# 国民一人あたり名目GDP (主要国、IMF予想含む、万米ドル)



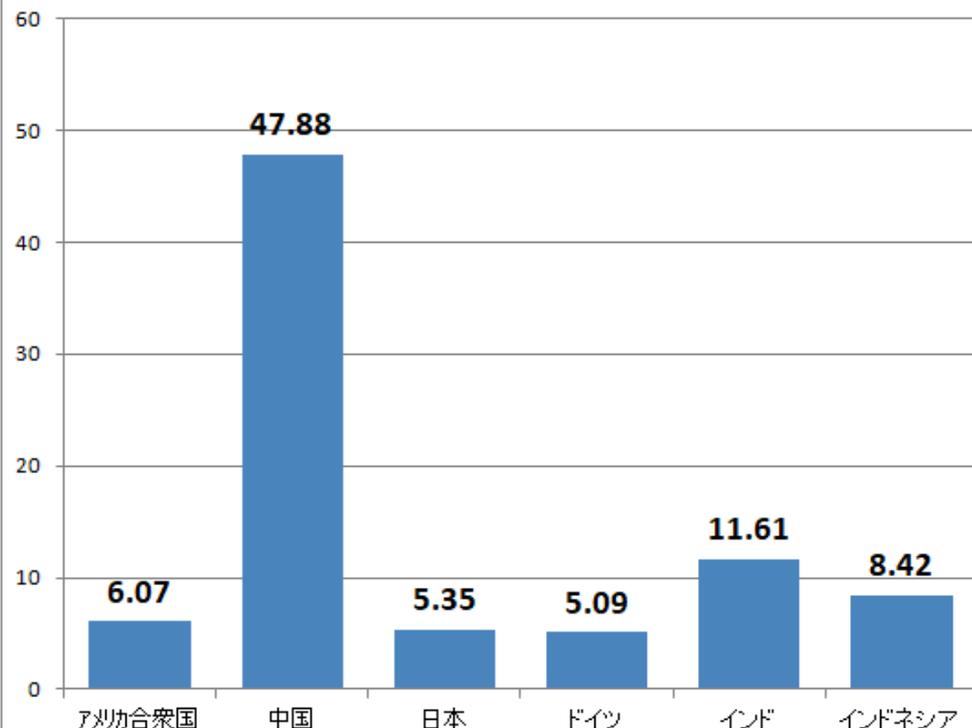


# 世界における一人あたり名目GDP

国民一人あたり名目GDP(IMF予想、上位国、万米ドル)(2020年)

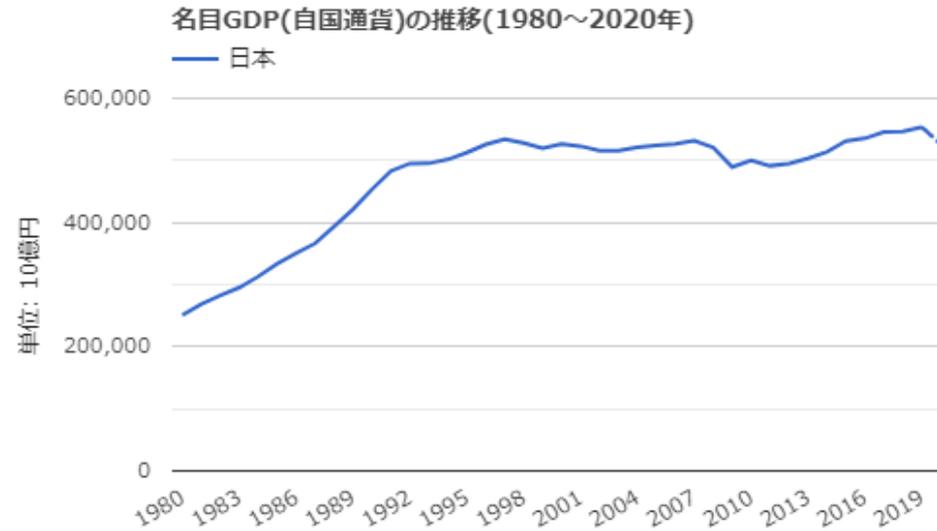


国民一人あたり名目GDP  
(主要国、IMF予想、2024年は1980年の何倍か)

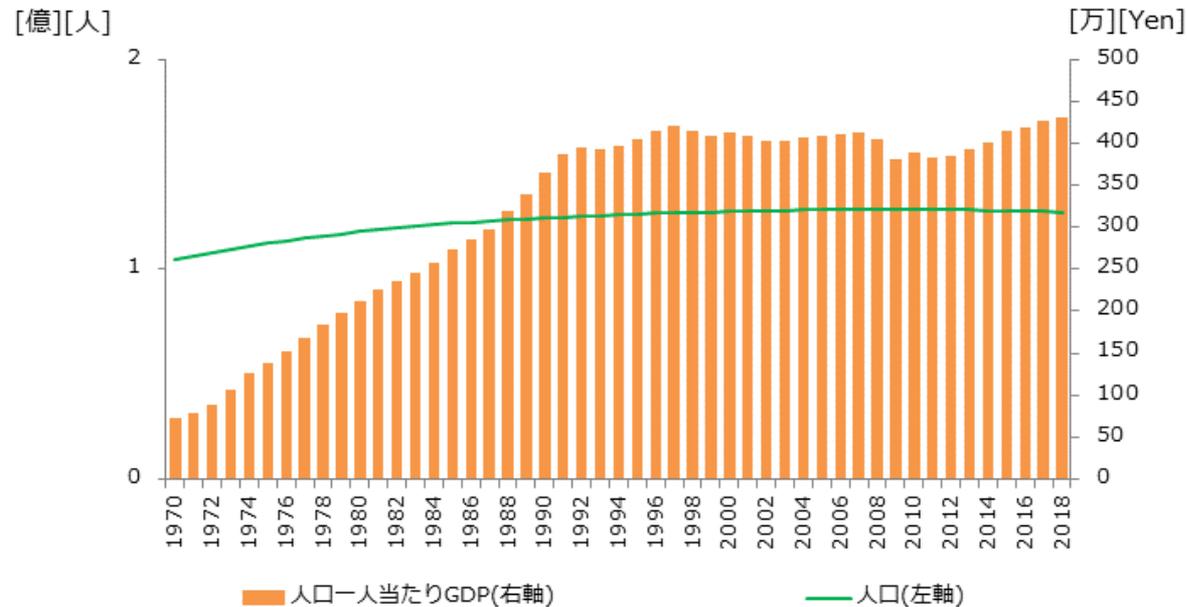




## 円ベースでの名目GDP推移



## 人口と人口一人当たりGDP(自国通貨名目)の推移





# 歴史の振り返り

- 1868年明治維新から大東亞戦争まで産業は順調に発展
- 終戦後、「奇跡の復活」といわれる発展を遂げ1968年にGDP世界第2位となる。
- バブル崩壊まではGDP世界1位の米国にせまる勢いでGDPが拡大するもバブル崩壊以降、GDPは横這い
- 2008年リーマンショック、その後のドル100円を下回る円高で貿易収支が悪化。日本の製造業の国際競争力は低下
- 2010年以降は中国のGDP世界2位の座を明け渡し、その後は差が開いていく一方



## 今後の日本の成形加工業について考える

- 成形加工業の置かれている状況
- 今後の課題



# 【工業統計 & 機械統計 金額推移グラフ】

■ (機械統計) ■ (工業統計)

ピーク：1991年  
生産高：1兆9,575億円  
事業所：12,815事業所  
従業者 約11万8,000人

工業統計は全事業所を対象

機械統計は2013年まで従業員20名以上の事業所を対象、  
2014年より従業員30名以上の事業所を対象

(100億円)

200

2008年9月  
リーマンショック

150

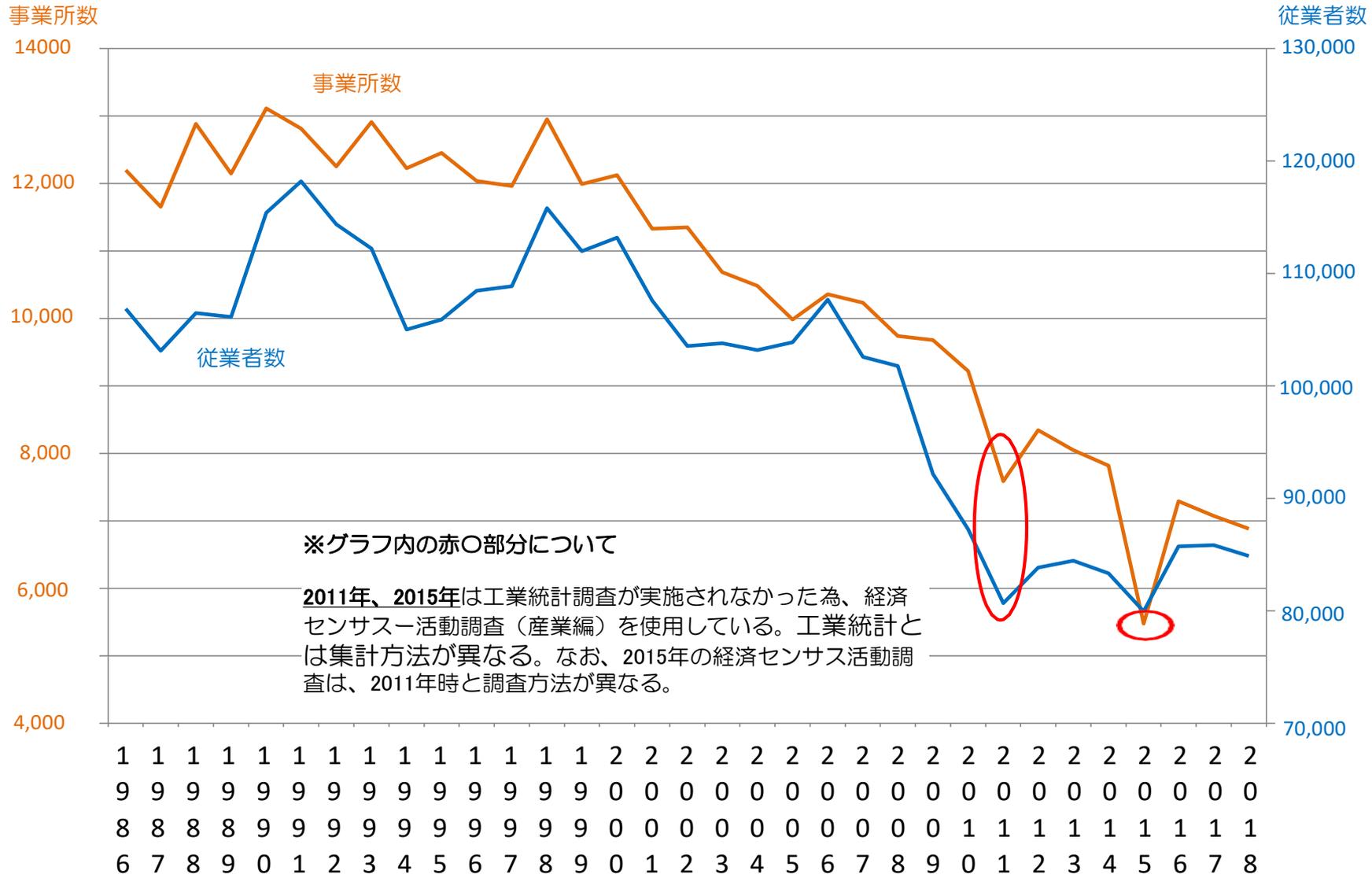
※2019年の工業統計は推定

100

50



# 金型事業所及び従業員数の推移





# 金型企業ビジョン作成のための六つのキーワード

まず基本となるキーワードは三つあり

第一のキーワード：営業力（提案力）

第二のキーワード：海外展開

第三のキーワード：金型技術を活かした周辺分野への事業展開である

加えて、この三つの基本キーワードをサポートするための三つのキーワードが存在する。

サポートキーワードとしては

第四のキーワード：人材確保・人材育成

第五のキーワード：技術研究開発

第六のキーワード：サプライチェーンを有効なものとするための  
連携・提携の推進である。

出所：2014年 一般社団法人 日本金型工業会

PLALINK CORPORATION



## 今後の取組み

問題点が分かっているにもかかわらず根本的な解決に至らない！なぜ？

危機感の不足？動き方が分からない？  
現在の延長線上の改善では解決できない！  
生き残りをかけた変革に取り組もう！

顧客から求められる潜在ニーズを探し出す事が重要  
(顧客自身もわかっていない)

情報を集め分析し、仮説を立て迅速に動き改善を継続  
(PDCAを素早く回す)



# 今後の日本の成形加工業の課題

「持続的な技術力強化、成長ができる事業構築が必要」

新規製品を他社に先駆けて事業化する

- 顧客のニーズを先取りして技術の種を持つ
- 適社性、時間軸を意識した取り組み
- 自社完結に拘らず必要に応じて他社との協業を視野に入れる。

顧客との連携による事業全体視点での競争力の獲得

- 製品設計段階の付加価値創出、合理化

**\* プロセス毎の品質、コストで中国と競争してはいけない！**

「視野を広く持ち、客観的な分析と行動力が必要」

ご清聴ありがとうございました

プラリンクは必死に頑張っている  
リーダーを応援いたします

# プラリンクでできる事

- 事業構築サポート

- 新規顧客、パートナーのご紹介
- 新技術のご紹介
- デザイン、設計
- 発明のアイデア出し、先行技術調査、特許出願、特許化対応

- 技術力強化

- 技術者教育
- CAE活用に関する支援
- 設計DRへの参加

プラリンクは人材、技術を拡充し、より一層、プラスチック業界に貢献してまいります。